

会員リレーコーナー

どうも  
しばらくです



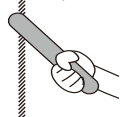
今回登場された会員からバトン  
を渡された会員の皆さんは次回の  
掲載になりますのでよろしくお願  
いいたします。

東北電友会会報 編集委員会  
※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



五ッ橋クラブ  
阿部 博(平20)

からのバトン



電友会おいたま 屋代 良子さんへ

平成20年にNTTを退職し、バ  
トンを頂いた加藤智徳さんと同様  
に日比谷総合設備(株)でお世話  
になりました。その3年後に東日  
本大地震が発生。その現状に愕然  
とし、1日も早い復旧をという思

いで微力ながら対応させていただ  
きました。平成29年、会社勤めを  
卒業後は自由気儘な生活を送って  
います。一昨年から運動不足解消  
のため、70才にして週1回のテニ  
スを始めました。思いどおりにい  
かないプレイでも、これが中々面  
白いんです。なんでもっと早くか  
らやらなかったのか…と今更なが  
ら思っています。

現役時代で特に思い出深いのは  
初めての単身赴任地米沢支店で四  
半期に1回程度行われる県内支店  
同時開催の全社員販売イベントで  
す。スーパリーの一角を借用、また  
無人局の前でテントを張って、テ  
レホンカード等の販売といった対  
応です。線路、機械、共通部門等  
毎の競争でした。当時の日沼支店  
長は非常に気合の入った方で「目

標をクリアするまで帰ってくる

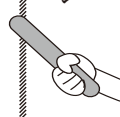
な！」(冗談半分だったと思いま  
すが?)と叱咤激励していただき  
ました。いわゆる素人集団でした  
が、これが結構売れたんです。結  
果、統括支店から「目標達成」で  
度々表彰され、その報奨金と支店  
長のポケットマネーで支店食堂で  
大騒ぎしたのを覚えています。こ  
れも米沢上杉の「為せば成る為さ  
ねば成らぬ何事も」でしょうか  
ね。

次は当時米沢支店営業推進担当  
で我々をサポートしてくれた、電  
友会おいたまの屋代良子さんにバ  
トンタッチします。よろしくお願  
いします。



五ッ橋クラブ  
小野寺 昭夫(平17)

からのバトン



五ッ橋クラブ 齊藤 健さんへ

青森の千葉哲泰さんから小野寺

昭夫が受けました。

青森の「ぼく」ちゃんからのリ  
レーありがとう。一緒に仕事をし  
たのはもう20年前のこと。私の前  
任の支店長にいじめ抜かれ、あの  
ころの秋田支店は疲弊していた  
なあ。そのあとだもの自然体で皆  
さん頑張ってくれたっけ。

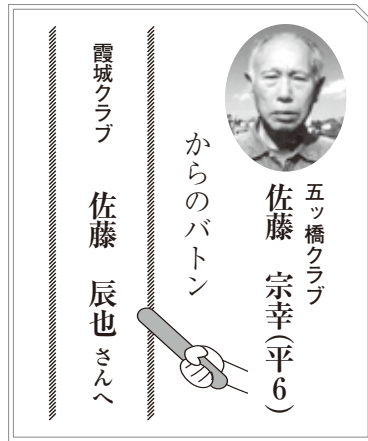
1番驚いたのは保全や設備投資  
費用を抑えたため設備がボロボロ  
だったこと。雷が鳴って雨が降っ  
たらボロボロになったケープブルに  
雨が染み込み電話ができなくなり  
113にお客様からの申告があつ  
たりするのだけど、そのうち晴れ  
て乾けば治るさ、と言う故障対応  
だったね。

本社の設備担当副社長にお願い  
して収支を度外視して故障修理費  
用や設備投資額を大幅に増額して  
もらったことが今ではいい思い出。  
社員に「今まで支店長に説明で  
きないでいた案件を出しなさい」  
といった途端、机の中からボロボ  
ロとでてきたっけ。

ここで学んだのは「強権・押し  
つけ」経営は目詰まりするという  
こと。どっかの中古車自動車販売

会社などはそのいい例なのでしょう。

ところで死ぬまでにやりたいことをリストアップする「バツケットリスト」をつくり、それに従って実行に移そうとしているのだけれど、なかなか進みません。原因は普段の優柔不断な生活にあることはわかってはいるのです…。こうやって言い訳しながら日々棺桶に足をつっ込んでいくのでしょうか。次回は先輩で大和電設の元会長、齊藤健さんへ。



バトンを託された松崎さんとの出会いは、昭和43年施設部機械課の特育生として、平局の設計に従事した時、機械課のデスク担当の佐藤さんから、技術的な事は松崎

君に聞くようにと紹介されたのが初対面でした。

その4年後、私は平局機械係長として赴任して再会、松崎さんの柔軟な発想で、チームワークを基本とした職場づくりに協力して戴きました。

私は昭和34年三沢局に電話交換手として採用されて、その後13の職場を転勤しその間、多くの先輩と同僚に恵まれ「人としてどう生きるべきか」をご指導戴き、充実したNTT生活を送ることができました。

そんな中で出発点となったのは三沢時代、私より半年後に入社した高橋義明(旧姓八重樫)さんとの出会いです。

喫茶店で「中等部(専門部の前身)に行く気があるか」と問われ私は「行く気はあるが数学が苦手です」と答えた。高橋さんから「だとすれば宗さんの今の生活は墮落している」と強烈な言葉が返ってきました。確かに、飲むかトランプをするかで、何の目標もない自堕落な生活を送っていたので二の句が継げぬものでした。

それからは、高橋さんの指導のもと、時間を見つけては数学の勉強に取り組みしました。お陰様で専門部の第一期生として、鈴鹿学園に入る事が出来ました。

勿来局では猪狩先輩から、物事をいろんな角度から見えていかないと、本質を見失う事になることを教えられました。

二本松局では、組合の役員で悩んでいた時、喫茶店のママさんから「宗さんは他人のためにやると思っていないでしょ? いろんな人と話をして自分を大きくするチャンスなんだから、自ら進んで引き受けるべきだと思うよ」との一言で書記長を経験しました。

「信ずる者は強し」この言葉が私の生活信条です。中学時代の恩師の言葉で、卒業アルバムに書いてくれました。

相手に信じて貰う為に行動するよりも、相手を信じて行動すると仕事が簡単になる、管理者になつてから特に痛感しました。

34年間無事完走できたのは、皆さんのお陰と感謝しています。次のバトンは、青葉通支店でお



世話になった佐藤辰也さん(霞城クラブ)に渡したいと思います。辰也さんが着任当日、残業している社員に「何で残っているの?」と聞いたのに対し「決算予定額の報告が百万円合わなくて…」、佐藤さん曰く「百五十億の仕事をしているのだから決算予定額の百万位、どこかで帳尻合わせて報告くれ、そんな事で悩まないでくれる?」と。この大胆さは私の憧れでした。

私は26歳の時、自動改式があり郵政受け入れで郡山電報電話局電報課に配属になりました。その1か月後に、三春局電報課が郡山へ集約となり、七海さんにはそれ以来お世話になっており、その縁で

しょうか、今回バトンをお引き受けすることになりました。

NTTを退職してから22年、その間を振り返ってみますと、震災・原発事故といった暗い出来事もありましたが、孫の誕生、電友あさか会の旅行・懇親会での楽しい思い出。また郡山市主催の「あさかの学園」社会人大学へ参加し数多くの講座を受講するなど充実した時間も過ごすことができました。

現在の私は、髪の毛が白く薄くなり地肌が見え、足腰も衰え、老いた自身を認めざるを得ません。喜寿という人生の節目を迎えましたが、余生をどう生きていきたいか、人生の終わりに向け「終活」について考えたいと思います。

終活は自分の人生を振り返り、これからの人生をどう生きていきたいかを考える時間だと思っています。これからは自分自身と向き合う時間を大切にしながら終活を進めていく所存です。

それでは次のバトンをNTT郡山支店時代から現在まで大変お世話になっている電友あさか会の黒川幸正さんへ渡したいと思います。

宜しくお願いします。



盛岡電友会  
小野寺 敬作(平13)

からのバトン

盛岡電友会  
まるこ 圓子 ぶんこう 文康さんへ

私はNTTを早期退職してから20年以上経過しています。宮古に2度赴任し一緒に仕事とナイターを共にした下野さんからバトンをいただき懐かしく思うとともに折角のバトンですから昔を振り返るチャンスと思い何点か紹介させて頂きます。

私は昭和44年に久慈電報電話局に配属になり、電報と線路宅内課で10年ほど勤務し昭和58年4月に岩手電気通信部第一線路工事課に配属になりました。ここからが長い単身赴任生活のスタートでした。

配属になってすぐ一関市川崎町(旧川崎村)が大雨により川崎交換所が水没し、高台に仮設交換所

を設置し側溝に人力でケーブルを敷設した事や、宿泊した宿の風呂で濁ったお湯に浸りながら諸先輩方の指導を仰ぎ、復旧に関わったことが思い出されます。

2点目は素晴らしい社長や上司の下で仕事できたことです。平成8年にNTT-TE東北本社に配属になり、当時は子会社としてまだ年数の浅い会社でした。東北管内67事業所の社員の心を一つにするための施策『モア・3S・アクション』という名で社員からアイデアを募集し毎週取締役会で審査し優秀な提案は即採用となり、



趣味は闘牛

事業に反映していました。また照井社長は、自ら67事業所すべて巡回し社員との対話を重ね現場を大切にした社長でした。

私は平成13年度末でNTTを退職しJAのお世話になりましたが照井社長が平成14年秋に久慈まで来て頂いて野田村のえぼし荘で夜中まで語り合い「NTTのノウハウと農業、都会の消費者との結びつきのIT農業をやったらいよいよね」とアドバイス戴いたのが今、現実のものとなっております。

私の趣味は闘牛です。岩手県久慈市で年4回開催されている、東



愛牛とともに入場

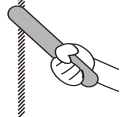
北唯一の平庭闘牛大会で「魁乃翔」という持ち牛が大会で頑張る姿をみて、元気を貰うことです。

次のバトンは盛岡電友会の圓子文康さんにお渡しします。圓子さんはNTT時代のお付き合いがありませんでした。私がJA役員になってからお付き合いし電力の効率的な活用やSDGs等について意見交換している方です。



いちのせき電友会  
佐藤 勇吉(平9)

からのバトン



いわき電友会  
西尾 秀子さんへ

入社した昭和37年、一関報話局線路宅内課は、線路・宅内の保守と支障移転、開通工事等の工事全てを直営で実施していました。工事現場への移動は、常に電柱と同じ扱いで電柱と一緒にトラックの荷台に乗り、夏などは、電柱に塗られた腐り止めの薬品クレオソー

トが作業服に滴り落ち、汚れたままの作業服で仕事をする毎日でした。クレ柱を肩にかついで建柱作業をする為、先輩からクレオソーが皮膚につくと火傷するからと顔に白粉を塗られた時は、顔を見合わせ大笑いでした。

入社2年目頃から線路近代化の取組みが始まり、車両や線路要員室も改善され、社員も年々増えるなど、職場環境の変わり様の速さに驚きました。

慣れ親しんだ職場一関を離れ、退職まで8局の職場で仕事をしましたが、各職場でも皆さんに支えられ楽しく仕事をさせてもらい心から感謝しております。組織も電電公社からNTTと変わり職場も集約されるなど、激動の時代を経験し、最後はNTT-TE東北水沢営業所で退職となりました。無我夢中の毎日でした。あの良き時代に在職出来、各職場での出会いが心に刻まれ生涯の財産となりました。

退職し26年になりますが、地元の水口民区内に集いの場「はたけの会」を作り、20世帯の会員と素

人ながらの野菜作りを楽しんでいます。私は水口民区の環境部長をしており、ボランティアで公園(3000坪)内の118本の桜や、ツツジ等の剪定、彼岸花5000本、山百合1000本の植え付けを行い10年になります。その甲斐あってか、今年の開花は見事でした。10月28日には私達の活動が市から表彰されました。

個人的には5月、6月は須川温泉経由で残雪と日々変わる景色や高山植物を見ながらの山菜採り、10月は紅葉の須川岳登山を楽しんでおります。最近では1人で山に入るのは孫娘の許可が下りず、私が山に行く時は心配して20代の孫娘と一緒にいきます。孫娘に激励されながらの行動です。気持ちだけはまだまだ若いつもりですが、後何年登れるか挑戦です。

次のバトンは、一関報話局時代線路課や中継所、交換手の方々の山好き仲間登山歩きの会「わらじの会」を結成した際、色々とお世話になったいわき地区電友会の西尾秀子さんをお願いします。

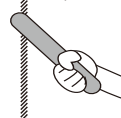
当時は何もなかった若者の交流

の場ができて楽しい思い出が沢山できました。



村山クラブ  
太田 時子(平5)

からのバトン



村山クラブ  
工藤 とし子さんへ

山形の渡邊比佐子さんからバトンをいただきました。比佐子さんは、村山局時代に同じ宿直班になり、お世話になりました。平成元年、案内部門が山形局へ集約になり、山形まで5年間通勤し、53歳で退職いたしました。退職後は第二の人生を元気で有意義に過ごしたく、平成6年4月より、書道(創琢書道会教授、県書道連盟、会友)詩吟(山形吟道会、九段)俳句(結社「波」)を29年続けております。子守をしながら、好奇心と自分への挑戦を、よくやったなーと感心しております。平成27年に主人が他界してからも、趣味

を続けていたお陰で、元気で張り切って、楽しく生きることが出来ました。

書道は毎月10種類、俳句は七句投句、詩吟は週3回練習があり、結構大変です。その他に家庭菜園で野菜作りも楽しく、新鮮で美味しくいただいています。健康にも役立っているのです、大変ですがやめられません。今後は自分の健康管理を大切にして、孫の成長を楽しみに、もう少し生きてみようかな。

次のバトンは、平成10年に退職した村山クラブの工藤とし子さんへお渡しします。宜しくお願い致します。



仙台紙工の「プラス思考」で、あなたの「思い」をもっと豊かに

**1 Creative**

- ☐ デザイン
- ☐ コピーライティング
- ☐ CM等の企画・制作
- ☐ 商品開発ほか

**2 Digital Content**

- ☐ WEBサイト
- ☐ インターネット広告
- ☐ AR
- ☐ 動画

**3 Sales Promotion**

- ☐ ポスター・チラシ・DM
- ☐ パンフレット・カタログ
- ☐ 折込・ポスティング
- ☐ イベント企画・運営ほか

**4 Marketing**

- ☐ 市場調査
- ☐ 分析

ECサイトははじめました

産 直 ス ト ア



メッケモノミヤギ

魅力溢れる、宮城の「メッケモノ」をご紹介します！  
お土産や贈り物にも、是非、ご利用ください。

オリジナル  
サイト



Yahoo!  
ショッピング



メッケモノミヤギ

検索



クリエイティブ デジタルコンテンツ セールスプロモーション マーケティング  
**株式会社 仙台紙工印刷**  
〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3丁目1-14

Office TEL(022)231-2245(代) FAX(022)231-2247  
Design TEL(022)231-2251 FAX(022)231-2252

<http://www.sendai-shiko.jp>

<http://fb.com/sendaisshiko>

[info@sendai-shiko.jp](mailto:info@sendai-shiko.jp)

# 会友コーナー

文芸

俳句

短歌

川柳

詩

随想



## 文芸

### 短歌

仙南OB会

大庭美智子

病みし身に 次々と現わる病い

医師を信じて 病氣と仲良く

相撲見て つぎは野球を ひとり解説

勝った人をば 誉めている

夏服の 人形なれど 今のはや

描いてるうちに 秋とはなりぬ

### 俳句

五ッ橋クラブ

阿部 豊(豊仙)

七夕や乙女に似たり君恋し  
夏盛り雑草刈りて朝明けぬ

仙南OB会

大庭美智子

下校路や桐の実拾いてアクセサリー  
秋近し散歩の路に栗のいが  
棚経の僧はコロナで忙しや

福島地区電友会

関戸 武

外に出る本を読めよと花辛夷  
蛙鳴くこの地は我のものと鳴く  
チューリップ唱歌の言葉胸にあり

### 川柳

仙南OB会

大庭美智子

タイタン観光富豪が仇に海の藻屑  
百万円あればねぶたの特別席  
東北同志手に汗握る白熱戦

福島地区電友会

高橋 敬一

子供の今日は孫から酒もらう  
夕暮れに時を告げるか秋の虫  
喜寿迎え敬老会に初参加

電友あさか会

山田 茂夫

人生の放課後だけどペンは持つ  
この壁を破らにや夢は夢のまま  
財産は笑顔だけです悪しからず

弘前地区電友会

倉谷 景子

しくじりを重ね重ねて返り花  
岩木嶺の肩に津軽の初明り  
咳払い父の帰宅を知る夕べ

白河地区電友会

内山 ヒサ

何故でしよう灯油が切れ始め  
重った年を崩してみたいもの

白河地区電友会

北島 和子

冷蔵庫よくぞ詰まった無駄使い  
無の時間増えるストレス無に戻す  
名ばかりの幹事続投同期会

盛岡電友会

小野寺博昭

盆の夜に忍びで踊る美人妻  
人妻の思い出探す西馬音内  
天を突く稲穂の先に天の川

弘前地区電友会

ゆきやなぎ

それぞれを語るシワシミ同窓会  
同窓会痛み少しに立ち止まる  
立ち止まる度に袖斗ひとつ増え

千秋クラブ

柏谷 武

思いつつ免許返納手を胸に  
蜘蛛の巣が庭木にわんさノー主  
散歩中道草を喰う好奇心

千秋クラブ

高橋 幸雄

ノンアルの日本酒あれば味みたい  
またひとつ肩書き増やす選挙前  
妻病んで三食支度ままならぬ



◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。  
多数投稿されている場合は  
勝手ながら編集担当で選定いたします。

## 会友コーナー作品募集

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

○短歌・俳句・川柳など  
〈お一人3首(句)以内〉

○随想・旅行の思い出など  
〈1,200字以内/年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただく場合があります。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部

▶ 電話 (022) 212-1443 ▶ FAX (022) 212-1444

▶ E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

# 随想



万葉集に思う



福島地区電友会

関戸 武

万葉集第十四巻東歌の一首に

「会津嶺の国をさ遠み逢はなはば

偲びにせも紐むすばさね」がある。

会津地方から旅立つ若い男性が最愛の女性をいつでも思い出せるように衣の紐を結んでほしいと詠んだとされる。

会津嶺は磐梯山を指す。歌碑が立つ磐梯町の町史によると、男性は九州沿岸の警備の防人ではないかと記されている。遠い南の海での任務は幾多の困難がつきまとう。古里に戻る保証もない。大切な人を残して行かねばならない悲哀がにじむ。

会津嶺を読んだ男性は過酷な任務を終え、故郷で待つ女性と再会出来ただろうか。

今は知るすべもない。時が過ぎてても忘れていけない事である。家路を無念に絶たれた人

たちがいたのである。

〈会報作成 事務局より〉

関戸さんは毎号俳句を投稿して下さいますが、今回は随想にも万葉集に寄せる思いを綴って下さいました。会報が届くのを楽しみにしていらして、届くと隅から隅まで読んで下さるとか。編集委員会でもそういう声が届くと大変励みになります。94号が届くころは関戸さんも94歳のお誕生日を迎えられている頃かと思えます。どうぞお健やかにお過ごし下さい。

孫の結婚式に参列



おおふなと電友会 岩城 恭治

東京に住んでいる孫(仙台に住む長男の子)の結婚式へ妻と2人で参列して来ました。

妻は3年前に転倒し中心性頸椎損傷と右上腕骨折により「要介護3」と認定を受けています。

妻は結婚式の案内があった数カ月前から東京行きに難色を示していました。私は孫の結婚式でもあり何としても参列させたいと願っ

て、2人の娘たちの力を借りて参列すると回答しました。

結婚式は10月9日東京の学士会館です。前日東北新幹線水沢江刺駅まで自家用車で大船渡を出発して駅に着くと、長女から東京駅で車椅子を利用するには、出発駅で申し込む必要があるとのメールを受け、早速水沢江刺駅に東京駅で車椅子利用の手続きを行いました。次女は仙台駅から乗車し弁当やトイレ利用などのお世話をしてくれました。

東京駅に到着するとホームに長女と駅職員が車椅子で出迎えてくれており、ものすごい人ごみの中をエレベーター等利用しながら、丸の内南出口タクシー乗り場まで車椅子を押して連れていってくれました。

結婚式は人前式で行われ、新郎新婦の両親族と友人の参列の中で「誓いの言葉」が話されました。その後は披露宴ではなく新郎新婦の両家の親族だけの食事会でした。新郎新婦の挨拶と両親からの乾杯挨拶、閉会の謝辞でした。私はせっかくの機会ですので、食事会の途中に自薦し挨拶とマジック・詩吟「結婚祝いの詩」を披露しました。

私達は東京学士会館に2泊し、帰日も東京駅で駅職員が車椅子を押しホームまで案内し

てくれて、10日の夕方無事大船渡に着きました。妻はあれほど難色を示していたのに、帰ってから孫の結婚式に参列してよかったと言ってくれました。

車いす情報や車いすを押して案内してくれた方、結婚式での両家親族からの温かい励ましなど、多くの皆様の支援を受けて孫の結婚式に参列出来たことに深く感謝しております。

### 船頭体験を通して



弘前地区電友会

蛇名 俊彦

昭和45年4月、青森統制電話中継所へ入社。その後、会津若松・東京・一関・弘前と各地で搬送業務と営業に従事し、平成29年3月無事退職を迎えました。

退職後の人生を考えた時、無趣味な自分には特別に思い当たる事はなかったのですが、新聞のチラシでシルバー人材センターの作業員募集を見つけ平成29年4月より会員登録しました。

登録後は、弘前城公園で開催する「桜まつり」「菊まつり」に、船頭として余生を楽しんでいます。

最初の頃は、栃本市と柳川市の和船運行団体の実技指導を受講しました。竹竿一本で船を直進させる操船技術には大変苦労しましたが、今ではお客様を喜ばせ出航できる様になりました。

自分の経験では、船に乗ってくれる方と出会うのは、一生の中で一度かぎりかもしれませんが、一期一会の心を大切に、弘前城の歴史と文化を、おもてなしの心でお客様と共に楽しんでいます。

### 『ピンボケさん』



八戸地区電友会

岩木 勇紀男

今から40数年前の事ですが「ピンボケさんさよなら」と言う世界初のオートフォーカスを搭載したカメラの広告が流行しました。写真機に便利な方式が開発されたと感心しました。販売社が言う様に使用すれば確かに写ります、今日はこの写真に纏る思い出話をしてみたいと思います。

父から貰った16ミリフィルムのカメラから始まりその後多数の機器と巡り合い、楽しめました。記念撮影の次は見てもらい、楽しんで

でもらえる様な作品作りをしている愛好会に入会し仲間と撮影会等をしました。

この撮影会で撮った1枚が第30回東北の道路写真コンテスト(応募数2000超)で最優秀作品賞に選ばれた時は、飛びはしなかったが飛びあがるほど喜びました。この撮影現場では撮りたいと思った方向に仲間の人が居たのでしからば、と反対向きに構え直し、更に日中なのにフラッシュ光を用いたら効果が出たものです。

平成21年に孫の出生を記念に家の中で飼いだ犬と写したものが自分で気に入り応募したら読売新聞社賞に選ばれ光栄でした。この受賞



第11回生命をみつめる写真コンテスト授賞式で主催者の口ザンナさんと。二人の間の後ろに展示されているのが受賞作品

式ではヒデとロザンナの、ロザンナさんと記念撮影してもらいました。

令和5年4月までの10年間、所属のシャッタークラブで会長を勤めさせてもらい、会員に支えられながら作品展や勉強会等を開催しました。

今日まで天然現象、生物、人物、祭りなどの撮影やカメラ会社の提案する勉強会参加等思い出が沢山あります。近くの市町村で行われる展示会は楽しんで見えています。

新型コロナウイルス騒ぎで外出が制限されたり祭りが中止になったりした頃は自宅周辺で、山野、昆虫、自然現象を撮影しました。天候が変化すればそれなりに撮ります。

天体写真は、百武彗星、ヘルボップ彗星、日食、月食等次回の約束が出来ない物を撮影して楽しめました。

今、後期高齢者ですが体力の有る限り撮影を楽しみたいです。

会員の皆様の御活躍を祈念します。



## 喜寿をむかえての回顧



秋田支部

安部 正義

昭和40年、能代報話局に採用となり、振り返れば15の部所を異動。チョットの辛さもありましたが上司・先輩・同僚などに恵まれ楽しく仕事し、62歳での44年間勤務を終えました。

2年間ぼんやり過ごした後、以前から一度は海外旅行を思い出し64歳で一念発起、コロナ禍となるまでの10年、29回・40カ国を旅行、すっかり虜となり、楽しい思い出を作ることができました。

人生、生きているうちが華。まだ元気があります。しよぼくれた年寄りにならないよう頑張ってます。

## 喜寿を迎えこれからも元気で



秋田支部

大久保 文夫

昭和40年4月、横手報話局機械課に入社、転勤も幾度かし、NTTを55才で退職、その

後、テルウエル秋田支店（監視員）にお世話になりました。この間本当に関係各位の皆様にはお世話になりました。ある通信会社から誘いを受け、1年半でテルウエルを退社。現場を中心に東北6県を回りました。北は下北、南は松枝岐（南会津郡）等とに角、車で走るのが仕事時間より長く、仕事をしながら各地を回るので結構楽しく動き回っていました。

休日は地元の500歳野球、8人制バレーボール、75歳で退職し3年目の今は前述のスポーツは勿論、何もない日は夕刻に1時間ほどのウォーキングをしています。

家内に休肝日を設けたらと言われますが、毎日少しの晩酌をしていますが、医者にかかってないし、薬も飲んでいません。（歯科医だけは3カ月に1度）、ただR4年の9月末、植木の選定をしていて9尺脚立と共に倒れ、左手首骨折で医者様にお世話になりましたが4週間のギブスで半年後の春からは野球等は問題なしでした。これも毎日飲んでいる「アロエベラジュース」のお陰かなと思っています。

この健康状態を維持し、筋力の衰えをなるべく無くするように身体を動かして努力し100歳を迎えたいと思っています。

退職して喜寿になっても「お祝い」を頂け

る会社に入って本当に良かったと思つてます。  
ありがとうございます。

### 古希を過ぎて思う事



秋田支部

熊谷 香

皆様ご無沙汰しております。五城目町の熊谷香です。健康のための趣味の一環として硬式テニスをしばらくやってきましたが、古希を過ぎてから無理のできない体調になってきました。そこで同時にやっていた別の趣味の楽器演奏(使用楽器ヤマハポータブルキーボードPSR-E453)を使って昔の歌謡曲(演歌やムード歌謡等)、フォークソング、ポップス、童謡、朝ドラやコマーシャルの主題歌など、練習してきた曲がかなりの数になってきました。最近では一部の五城目町内会(15人程度)から声をかけられて演奏しています。対象年齢は後期高齢者がほとんどですが、皆さんそれぞれに若い時の想い出の曲があるようで、演奏を楽しんでいたというような気がします。

ヤマハなどの音楽教室に通ったことはあり

ませんので、自己流の弾き方です(正規の指の使い方ではないと思いますが)。

最近あまり遠くへは車で出かけるなくなってきましたが、決まった予定がない時に、昔の「歌声喫茶」のような感じを楽しんでもらえたらと考えています。

今までに弾いた曲は「秋田県民歌」から始まり「リンゴの唄」「ああ上野駅」「高校三年生」「青春時代」「岬めぐり」「花嫁」などで、現在700曲を超える楽譜になってしまいました。(忘れた曲もありますが...)。興味があつたら、是非、相談させてください。

### ◆会友コーナーへの投稿について

◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

◎「随想」への投稿については誌面の都合上左記内容にご協力をお願いいたします。

○掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

○字数・・・1200字以内厳守

紙面の都合上、調整させていただく場合もありますのでご了承願います。

○次回締切り・・・令和6年5月20日厳守

資材をつなぐことで、情報をつなぐ。  
そしてもっと豊かな未来をつないでいきます。



2022年10月1日合併により日本全国をカバーする「新生」資材リンコム株式会社になりました。

資材リンコム株式会社 東北支店

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字松原47-9 TEL022-302-8100

<https://www.slinkom.jp>

## NTT東日本から退職者の皆さまへ

### ■長寿お祝いについて（※勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈しています。

| 長寿の種類   | 贈呈品                         |
|---------|-----------------------------|
| 喜寿（77歳） | カタログギフト電報+花<br>（1万円相当）（5千円） |
| 米寿（88歳） |                             |
| 白寿（99歳） |                             |

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

### ■弔慰金について（※勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本から以下のとおり弔慰金を贈呈（口座振込）しています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

#### ★長寿祝い・弔慰金贈呈に関して・・・★

【注1】最終退職会社（転籍等）によっては贈呈の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

【注2】贈呈期限については、長寿お祝いは該当年齢の誕生日から弔慰金は死亡の事実が発生した日から、それぞれ2年以内となります。

お問合せは・・・（メールでの問い合わせをお願いいたします）

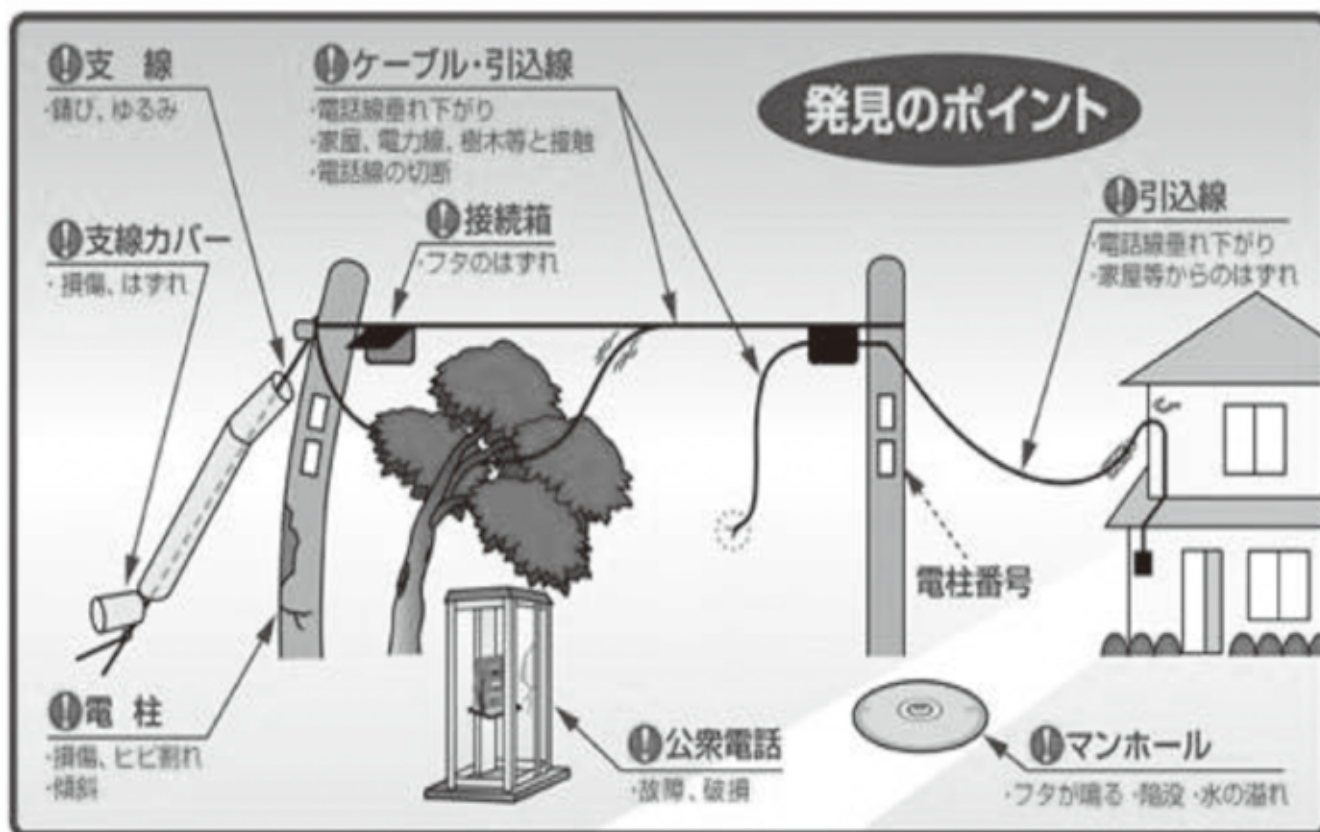
NTT東日本-東北 総務部 社員サービス担当

メール：[obfuhou@east.ntt.co.jp](mailto:obfuhou@east.ntt.co.jp)

会員の皆さまへ

## 不安全設備の情報提供にご協力ください

こんな設備を発見したら・・・



Web113への情報提供をお願いします！！

Web113下記URLにアクセス

または「不安全設備WEB受付」で検索！

[https://web113.ntt-east.co.jp/safety\\_report/](https://web113.ntt-east.co.jp/safety_report/)

不安全設備WEB受付

検索

## ◎表紙写真の紹介

## シリーズ おらほの自慢

## くふるさとの隠れた魅力を再発見く

今回は山形の隠れた自慢を紹介します。山形の食べ物と言えば、こんにゃく、蕎麦、ラーメン、米沢牛、甘くて美味しい山形米等々：海、山、里、それぞれの幸が盛り沢山あります。サクランボや尾花沢スイカ、メロン、ラフランスといった果物も豊富でフルーツ王国ともいわれていますが、今回紹介する自慢は庄内地方の「岩牡蠣」です。出羽富士と呼ばれる鳥海山は水の山ともいわれ、その山麓から平地、海岸、海中に至るまで数多くの湧水を出しています。その恩恵を受けた釜磯海岸の湧水で育った天然岩牡蠣の旨さは絶品です（上4枚の写真左側下）。左上が月光川水系の豊富な湧水です。月光川では澄んだ湧水のある川に産卵する鮭の遡上も見られます。鳥海山の湧水を利用して鮭の人工ふ化事業が、明治時代から続いています。この湧き水を汲みに来る方も多いそうです。釜磯海岸の湧水は海中から湧き出ており砂が見えるほど澄んでいます（右側の写真）。真ん中の写真は「白川湖の水没林」です。飯豊町にある白川湖は春先の雪解け水で満水になります。すると湖周辺のシロヤナギ等の樹々が水没し、まるで

湖から樹々が生えているかのような不思議な風景が見られます。早朝にでる霧や朝靄により幻想的な光景に包まれるのですが、この風景は湖水が満水になっている約1ヶ月だけ見ることが出来るそうです。見ごろは4月中旬頃から…。短い期間だからこそ、なおさら魅力が増しますね。下3枚の写真左側は東根にある「日本一の大ケヤキ」です。樹齢1500年以上、樹高28m、幹周16mもあります。国の特別天然記念物に指定され、日本ケヤキの番付では東の横綱に選ばれています。真ん中の写真は慈恩寺の舞楽です。慈恩寺は有名な巨刹ですが、五木寛之氏が書いた百寺巡礼の寺巡りで紹介されてからは益々有名になりました。そういう訳で隠れたおらほの自慢での詳しい紹介は控えますが、今回は1200年の間、一子相伝により伝承される慈恩寺舞楽の写真を紹介しました。下右側の杉の木は最上地方鮭川村小杉地区にある大杉なので、「小杉の大杉」と呼ばれています。が、映画「隣のトトロ」が上映されてからは、トトロにそっくりだということで「トトロの木」と呼ばれるようになりました。写真紹介は出来ませんでした。山形の自慢は他にも多数あり、上山市には江戸時代に東北地区の13藩が参勤交代時に立ち寄った宿場町「羽州街道

檜下宿」が往時の街並みがそのまま保存されており、脇本陣や旅籠等の「茅葺古民家」等歴史的文化遺産が多数現存しています。村山市の白山神社には一対の杉の巨木があり幹が途中から5つに分かれ、1本の杉が5幹に分かれるといった面白い姿を見せてくれています。朝日町には日本初、空気がご神体の「空気神社」なんていうのもあるんですよ。最後に米沢市には、米沢藩主で名門上杉家の廟所があります。名君と言われ「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」で有名な九代藩主上杉鷹山公（上杉治憲）の墓もあり、藩祖謙信公から十二代までの歴代藩主の廟が整然と立ち並んでいる御霊屋は圧巻で森厳とした雰囲気満ちています。山形には各自治体に温泉があります。それも合併前の自治体全てにあるのですから凄いです。おそらく全国でも山形だけかもしれません。皆様、是非一度山形へ足をお運びください。ダニエル・カール氏も絶賛!!良いところですよ。（写真提供／電友会山形支部）



